

甲第

109  
号証

板橋区エコポリスセンター  
志村 所長殿

### ホタル専門家の派遣依頼

「つくし野殿山市民の森」は、東京都町田市つくし野 1 丁目住宅地の一角にありまして、東西に 100m弱、南北に 50m弱のクヌギ・コナラが自生する小さな自然森です。東に向かって、約 30mほど上がる丘陵を形成しています。ここに小さな湧き水があり、10 数メートルの小さな流れと 10 坪程度の溜池が形成されております。

10 年程前に、ここに源氏ホタルと平家ホタル、それぞれ、100 匹ほど放流しましたが、この内、平家ホタルが細々と生きながらえ、昨年最大 13 匹、今年はまだ 2 匹観測されています。

この度、「殿山市民の森管理委員会」や「クラブ・はんどれっど」（地域の熟年有志の会）の有志が集まりまして、ビオトープ計画を進めている近くの小学校とも連携して、殿山市民の森の自然環境に配慮しながら、この平家ホタルを増殖させて、毎年 50-100 匹観測されるようにならないかとの検討を始めました。

先 8 月 18 日に、有志 6 名で貴ホタル飼育施設を見学させていただき、ホタルの飼育環境や生態について、丁寧にご説明して頂きましたが、改めて、殿山市民の森でのホタル増殖の見通しについて、期待とともに不安を抱いて戻ってまいりました。

つきまして、ホタル飼育環境について、多くのご経験と研究実績を有しておられる貴ホタル飼育施設の専門家に現地を見ていただき、森の小さな湧き水系におけるホタル増殖のフイージビリティを検討していただき、今後、どんな環境の整備や飼育の手助けをしたら、長期的に自前のホタルを増やしていけるのかについて、ご指導していただきたいと考えております。

尚、派遣日については、貴ホタル飼育施設長の阿部宣男氏と連絡を取り、9 月 8 日（金）を予定しておりますが、よろしくお願い致します。

平成 18 年 8 月 25 日

「つくし野殿山市民の森」管理委員会会長  
岡野 静江  
「クラブ・はんどれっど」会長  
川口 周男